



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 日本ナレッジ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5252 URL <https://www.know-net.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 洋一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 青木 一男 TEL 03-3845-4781
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,154	1.9	99	△60.4	115	△56.8	82	△59.0
2024年3月期	4,076	14.8	250	23.4	266	39.4	202	47.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	60.25	—	7.5	5.4	2.4
2024年3月期	146.91	—	20.4	13.6	6.2

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	2,124	1,139	53.6	827.94
2024年3月期	2,121	1,083	51.1	787.63

(参考) 自己資本 2025年3月期 1,139百万円 2024年3月期 1,083百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	53	△167	2	672
2024年3月期	127	△285	81	782

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	27	13.6	2.8
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	27	33.2	2.5
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00		34.5	

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,124	7.2	△36	—	△30	—	△21	—	△15.61
通期	4,600	10.7	102	3.0	115	0.0	79	△3.7	58.03

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	1,376,000株	2024年3月期	1,376,000株
2025年3月期	45株	2024年3月期	45株
2025年3月期	1,375,955株	2024年3月期	1,375,985株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報の注記)	11
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2024年4月1日～2025年3月31日まで、以下当期)におけるわが国経済は、資源価格の高騰に伴う物価上昇や米国の政策動向に伴う金利変動及び為替動向の影響はあったものの、国内での経済活動の活発化により、景気は緩やかに回復致しました。

当社が属するIT関連業界における企業のIT投資は、幅広い業種にわたり拡大基調が続いており、事業の拡大や競争力の強化を目的としたIT投資の意欲は力強いものがあります。

こうした事業環境の中、当社は、他社と差別化するための独自性のあるサービス提供へ向けた積極的な取り組みや新たな市場の開拓に注力し、企業価値の向上に努めてまいりました。一方で中長期の視点に立った人材投資政策として、新諏訪センターの開設、積極的な人材確保及び社員の待遇向上を目的とした賃金・手当の向上に取り組んだ結果、人件費等が増加致しました。

この結果、当期の売上高は4,154,113千円(前期比1.9%の増加)となり、創立以来の最高額であった前期を上回る結果となりました。また積極的な人材投資により、営業利益は99,369千円(前期比60.4%の減少)、経常利益は115,285千円(前期比56.8%の減少)、当期純利益は82,904千円(前期比59.0%の減少)といずれも大幅減少となりました。

各セグメントの経営成績につきましては、次のとおりです。

①検証事業

当社の検証事業では、ソフトウェア開発の各工程において、テストの設計及び実行から改善提案に至るまで、顧客企業のソフトウェア品質向上のためのサービスを提供しております。

当期においては、同業他社と差別化を図るために昨年より継続してテストの自動化を推進してまいりました。複数の顧客の自動化を受託し、実績をあげることができました。

その結果、セグメント売上高は2,766,224千円(前期比0.5%の増加)、セグメント利益は493,185千円(前期比2.8%の増加)と増収増益の結果となりました。

②開発事業

当社の開発事業では、自社開発パッケージソフトウェアの販売・保守及びカスタマイズ、受託システム開発、セキュリティ関連製品の販売・保守が主な事業内容となっております。

当社の開発事業においては、従前より株式会社大塚商会のERP「SMILEシリーズ」の開発及びカスタマイズを中心に行っております。特に鋼材業・木材業向けといたしまして、「SMILEシリーズ」で機能する業種テンプレートを自社開発し、これらの販売・サポートについても、パートナー企業との連携強化に注力し展開してまいりました。

また、諏訪センターにおいて複数の大手ベンダー製パッケージソフトウェアの受託開発を手掛けており、開発の対象の幅を広げることで受注の安定につなげております。

その結果、セグメント売上高は1,387,889千円(前期比4.8%の増加)、セグメント利益は211,305千円(前期比36.6%の減少)と増収減益の結果となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べ2,177千円増加し、2,124,151千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ124,987千円減少し、1,392,537千円となりました。主な要因は、現金及び預金が110,188千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ127,165千円増加し、731,613千円となりました。主な要因は、新諏訪センター建設に伴う建物の増加322,517千円によるものであります。

(負債)

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末に比べ282,128千円減少し、691,110千円となりました。主な要因は、短期借入金の減少200,000千円によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ228,851千円増加し、293,838千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加229,975千円によるものです。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ55,454千円増加し、1,139,202千円となりました。これは主に、当期純利益82,904千円の計上などによって繰越利益剰余金が52,633千円増加したためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前事業年度末に比べ110,188千円減少し、672,487千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況と各増減要因は次のとおりであります。

す。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は53,900千円となりました。これは主に、仕入債務の減少47,308千円や法人税等の支払額77,013千円があったものの、税引前当期純利益119,780千円の計上や売上債権及び契約資産の減少40,843千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は167,081千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出158,636千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2,992千円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出200,000千円、社債の償還による支出20,000千円、配当金の支払による支出27,565千円の方で、長期借入れによる収入256,662千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

資源価格の高騰に伴う物価上昇や米国の政策動向に伴う金利変動等、依然としてわが国経済の先行きは不透明な状況が続いており、事業の先行きの見通しが非常に予測しにくい状況にあります。そのような状況におきましても、人材への投資を積極的に行い、人材育成、雇用拡大を図ることにより、企業価値の向上に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	848,675	738,487
売掛金及び契約資産	635,832	594,988
仕掛品	5,610	6,026
前渡金	9,151	8,713
前払費用	17,009	26,410
その他	1,277	17,910
貸倒引当金	△31	-
流動資産合計	1,517,525	1,392,537
固定資産		
有形固定資産		
建物	66,511	402,440
減価償却累計額	△28,812	△42,224
建物（純額）	37,699	360,216
構築物	-	13,750
減価償却累計額	-	△1,006
構築物（純額）	-	12,744
機械及び装置	-	8,793
減価償却累計額	-	△778
機械及び装置（純額）	-	8,015
車両運搬具	1,204	1,204
減価償却累計額	△536	△938
車両運搬具（純額）	667	265
工具、器具及び備品	67,898	107,375
減価償却累計額	△50,131	△67,300
工具、器具及び備品（純額）	17,766	40,075
土地	109,121	109,121
リース資産	34,067	36,847
減価償却累計額	△24,003	△22,113
リース資産（純額）	10,064	14,734
建設仮勘定	241,376	-
有形固定資産合計	416,696	545,172
無形固定資産		
借地権	8,190	-
ソフトウェア	1,125	6,961
その他	188	264
無形固定資産合計	9,504	7,226
投資その他の資産		
投資有価証券	22,213	36,357
出資金	16,450	16,450
長期前払費用	1,861	145
繰延税金資産	52,927	38,767
その他	84,919	87,618
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	178,248	179,214
固定資産合計	604,448	731,613
資産合計	2,121,973	2,124,151

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,093	239,784
短期借入金	250,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	20,838	47,525
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
リース債務	6,029	4,912
未払金	22,011	21,308
未払費用	84,367	70,337
未払消費税等	33,738	67,536
未払法人税等	50,861	10,560
契約負債	60,143	57,589
預り金	28,443	15,359
賞与引当金	109,713	96,196
流動負債合計	973,239	691,110
固定負債		
社債	10,000	-
長期借入金	27,493	257,468
リース債務	5,736	11,924
資産除去債務	21,032	21,153
その他	724	3,291
固定負債合計	64,986	293,838
負債合計	1,038,225	984,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,100	217,100
資本剰余金		
資本準備金	146,100	146,100
その他資本剰余金	12,240	12,240
資本剰余金合計	158,340	158,340
利益剰余金		
利益準備金	7,251	10,002
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	697,780	750,414
利益剰余金合計	705,031	760,417
自己株式	△76	△76
株主資本合計	1,080,395	1,135,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,352	3,421
評価・換算差額等合計	3,352	3,421
純資産合計	1,083,748	1,139,202
負債純資産合計	2,121,973	2,124,151

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	4,076,709	4,154,113
売上原価	3,263,521	3,449,623
売上総利益	813,188	704,490
販売費及び一般管理費	562,320	605,121
営業利益	250,867	99,369
営業外収益		
受取利息	8	321
受取配当金	602	752
助成金収入	8,516	14,020
受取手数料	483	22
受取家賃収入	1,277	1,923
売電収入	491	476
保険解約返戻金	5,224	1,012
その他	1,689	1,067
営業外収益合計	18,295	19,598
営業外費用		
支払利息	1,027	2,984
社債利息	60	32
支払保証料	341	116
保険解約損	877	269
その他	106	277
営業外費用合計	2,412	3,681
経常利益	266,750	115,285
特別利益		
固定資産売却益	-	7,668
特別利益合計	-	7,668
特別損失		
固定資産除却損	-	3,173
特別損失合計	-	3,173
税引前当期純利益	266,750	119,780
法人税、住民税及び事業税	71,475	24,824
法人税等還付税額	-	△2,012
法人税等調整額	△6,874	14,065
法人税等合計	64,600	36,876
当期純利益	202,149	82,904

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	217,100	146,100	12,240	158,340	5,187	518,334	523,521	—	898,961
当期変動額									
剰余金の配当					2,064	△22,704	△20,640		△20,640
当期純利益						202,149	202,149		202,149
自己株式の取得								△76	△76
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	2,064	179,445	181,509	△76	181,433
当期末残高	217,100	146,100	12,240	158,340	7,251	697,780	705,031	△76	1,080,395

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	△239	△239	898,722
当期変動額			
剰余金の配当			△20,640
当期純利益			202,149
自己株式の取得			△76
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,591	3,591	3,591
当期変動額合計	3,591	3,591	185,025
当期末残高	3,352	3,352	1,083,748

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	217, 100	146, 100	12, 240	158, 340	7, 251	697, 780	705, 031	△ 76	1, 080, 395
当期変動額									
剰余金の配当					2, 751	△30, 271	△27, 519		△27, 519
当期純利益						82, 904	82, 904		82, 904
自己株式の取得				－			－		－
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）									
当期変動額合計	－	－	－	－	2, 751	52, 633	55, 385	－	55, 385
当期末残高	217, 100	146, 100	12, 240	158, 340	10, 002	750, 414	760, 417	△ 76	1, 135, 780

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	3,352	3,352	1,083,748
当期変動額			
剰余金の配当			△27,519
当期純利益			82,904
自己株式の取得		—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	69	69	69
当期変動額合計	69	69	55,454
当期末残高	3,421	3,421	1,139,202

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	266,750	119,780
減価償却費	19,830	39,243
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△31
受取利息及び受取配当金	△611	△1,074
固定資産売却損益 (△は益)	-	△7,668
固定資産除却損	-	3,173
助成金収入	△8,516	△14,020
支払利息	1,027	2,984
社債利息	60	32
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,496	△13,516
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△116,292	40,843
棚卸資産の増減額 (△は増加)	15,678	△416
仕入債務の増減額 (△は減少)	50,557	△47,308
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,957	34,916
その他	2,430	△39,884
小計	207,456	117,054
利息及び配当金の受取額	327	1,074
利息の支払額	△1,038	△3,248
法人税等の支払額	△87,324	△77,013
法人税等の還付額	-	2,012
助成金の受取額	8,516	14,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,937	53,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△294,135	△158,636
無形固定資産の取得による支出	△859	△7,389
投資有価証券の取得による支出	△3,884	△13,981
差入保証金の差入による支出	△1,910	△128
差入保証金の回収による収入	79	-
保険積立金の積立による支出	△3,291	△3,168
保険積立金の解約による収入	18,472	464
有形固定資産の売却による収入	-	2,318
無形固定資産の売却による収入	-	13,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,530	△167,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	△200,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△72,049	△43,338
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△5,472	△6,104
配当金の支払額	△20,581	△27,565
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,896	2,992
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75,695	△110,188
現金及び現金同等物の期首残高	858,371	782,675
現金及び現金同等物の期末残高	782,675	672,487

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等の注記)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、検証事業の拠点を札幌、開発事業の拠点をつくば、成田、郡山、諏訪に展開しております。また、本社にセキュリティ製品と動作分析システムを取り扱うセクションを置きビジネスを展開しております。

当社は事業の種類・性質の類似性等を勘案して、「検証事業」、「開発事業」の2つの事業に区分しており、これを報告セグメントとしております。各事業は取り扱う製品及びサービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「検証事業」は、ソフトウェアの不具合により顕在化するリスクを回避・軽減するため、ソフトウェアの開発工程（要件定義・設計・開発・テスト）のなかのテスト工程において、品質計画の立案、テストの分析設計、テストの実行といった一連のプロセスやコンサルティングをサービスとして提供しております。

「開発事業」では、大手ベンダー製のパッケージソフトウェア導入に伴うカスタマイズの受託開発や、セキュリティ製品の開発・販売、パッケージソフトウェアの開発・販売・保守を中心に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,752,114	1,324,595	4,076,709	—	4,076,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△63,126	63,126	—	—	—
計	2,688,987	1,387,722	4,076,709	—	4,076,709
セグメント利益	479,951	333,236	813,188	△562,320	250,867
その他の項目					
減価償却費	4,879	7,704	12,583	7,246	19,830

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△562,320千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用562,320千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となってい

ないため記載をしていません。

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,766,224	1,387,889	4,154,113	—	4,154,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△35,975	35,975	—	—	—
計	2,730,249	1,423,864	4,154,113	—	4,154,113
セグメント利益	493,185	211,305	704,490	△605,121	99,369
その他の項目					
減価償却費	6,137	25,769	31,906	7,336	39,243

（注）1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△605,121千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用605,121千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載をしていません。

（1株当たり情報の注記）

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	787.63円	827.94円
1株当たり当期純利益	146.91円	60.25円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益（千円）	202,149	82,904
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	202,149	82,904
普通株式の期中平均株式数（株）	1,375,985	1,375,955

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	1,083,748	1,139,202
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	—	—
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,083,748	1,139,202
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数（株）	1,375,955	1,375,955

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。